

2025 年 12 月 26 日

課題名：救急外来における意識下挿管の実施に関する観察研究

◆研究の目的と概要◆

当院では、救急外来で意識下挿管を試行された方について調べています。本研究では、救急外来で意識下挿管された方の割合、合併症などを調べることで現時点での実態を調査し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2020 年 4 月から、2025 年 12 月までの間に、当院救急外来で意識下挿管を試行された 18 歳以上の方。

◆研究に使用される情報・試料◆

本研究では、救急外来の挿管記録および電子カルテから、以下の項目を収集します。

- ① 患者背景：性別、挿管時年齢、診療日・時刻、診療科名
- ② 挿管に関する情報：挿管場所、挿管日付・時刻、挿管の適応、予測困難気道の有無、チューブサイズ・挿入深度、使用デバイス、声門視認度、挿管困難度、挿管理由
- ③ 薬剤投与：前投薬および鎮静薬筋弛緩薬の使用有無と種類・投与量
- ④ 技術的アウトカム：挿管施行回数、1 回目挿管成功の有無、挿管施行医の年数、挿管者の所属や専門
- ⑤ 合併症：挿管関連嘔吐・誤嚥、歯牙損傷、不穏、気道損傷、食道挿管、片肺挿管、低酸素血症、低血圧、不整脈、心停止、死亡、薬剤投与エラー等の有無および内容
- ⑥ その他：挿管に要した時間、気道管理に起因しない低酸素・低血圧があった場合の内容、自由記載コメント、現病歴、既往歴、併存疾患、病名、身体所見、血圧、心拍数、呼吸数、意識レベル、体温、SpO₂、血液データ

なお、患者氏名や患者番号、医師個人を特定しうる職員番号・氏名は、院内で連結可能匿名化を行ったうえで解析用データからは除外します。

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026 年 1 月 30 日以降

◆研究方法◆

本研究は診療録（カルテ）などからの情報を利用します。

* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。

＊ 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

救急科 研究責任者 _____ 中原清香 _____

E-mail： kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明